

## 第24期通常総会

日時:2018年5月26日(土曜日) 14時10分~15時30分  
 場所:東京と大阪の2か所にあるネットカンファレンス会議室  
 出席者:東京-今野・大場・小川・豊方・中山・桜井・志智・怡田・角田・武藤・北原・今井・東郷  
 大阪-矢澤・尾原・田中・吉村・岩岡・今井  
 監事-佐戸川・齋藤 (苗字のみ敬称省略)

総会進行経過: 桜井理事の司会で開会の挨拶が有りTV総会での決議承認の記録を画像で残すことが伝えられた。  
 今野理事長が議長として挨拶が有り、会員規約 15 条に基づく通常総会有効数の報告が有り総会成立 が宣言された。  
 小川事務局長が総会議案書の内容審議の為、第1号議案から第2号議案まで報告が行われた。

第1号議案 2017年度事業活動報告

第2号議案 2017年収支決算報告・貸借対照表・財産目録の報告

第3号議案 2018年度 活動報告・活動方針(案)の提示

第4号議案 2018年度 組織と役員(案)の提示

第5号議案 2018年度事業計画(案)は下記の提示が説明された。

第6号議案 ・役員開催日程 説明:小川事務局長  
 (経費節減の為、役員会は西から矢澤理事が代表して東京の事務局で行なう。)  
 ・事業企画部(東) 説明:怡田執行理事・大場副理事長  
 (追記事項:DIC新サービスローンチ事業への画像情報の供与と賛助の予定)  
 ・事業企画部(西) 説明:矢澤執行理事・尾原執行理事・田中執行理事  
 (ふくろプロジェクト展示期間は 6 月 20 日~23 日で決定)  
 ・文化広報部 説明:豊方執行理事 (「協会の財政状況に見合う……事業活動を行う。」)  
 2018年度 収支予算(案)が小川事務局長から提示

第7号議案発議 今野理事長から会友への支援金5千円要請についての議案が提案された。支援金は自主的なものとして会員規定には記載しないが要請をすることとして第 7 号議案とした。

以上、第 1 号議案から第 7 号議案まで満場一致で可決されました。

補足事項として理事に郵送されているわたなべ氏からの手紙について、今野理事長から経緯の説明 とわたなべ氏は退会ではなく会友(名誉顧問)として在席して頂き、百万円の寄付は基金としてご提供頂くことをお伝えすることが説明された。

書記:東郷 清次郎



## TDAが企画した展示・セミナー

## TTcafe

## 「7830Km の彼方から」

大阪府立江之子島文化芸術創造センターにて開催

12月12日(土) 15:00 ~ 16:30

講師は 眞田 玲子 氏

フィンランドのライフスタイル、デザイン、アートなどのお話を、持参された北欧のお菓子(キシリトールの飴、ガム、チョコetc)を、頂きながら和やかなムードの中、講演をして頂きました。フィンランドと日本国内の活動から、日本人としての情緒、布への敬意を払い、心豊かなもの作りを心がけ創作されて来ました。それは、20年創作の拠点であるフィンランドの田舎町で毎夏暮らして体験したことから、自然と住まいのテキスタイル、暮らしの中の機能美、の再発見でした。

テキスタイルは、ダマスク織、パッチワーク、レース、カーペットetcで、織り上がると誰でも見れる様に機に掛けられ、また、どういうイメージで作るのかを聞かれる事が多いそうです。色は白と赤の組み合わせが基本で多く、また木を織り込んだ鍋置きなど、自然の色合い・風合いのものが多く好まれるようです。暮らしの中の生活用品などからデザイン化、カラフルな赤バージョンとブルー、黒バージョンの三種類を使ってバッグや小物類を可愛く制作。最後に、織サンプルを見せて頂き、フィンランドの自然と暮らしから生まれるテキスタイルに興味を覚えました。心暖くなる楽しい時間でした。

記 野々口 悟



## Fukuro展

会期: 2018年6月20日(水) ~ 6月23日(土)  
 13:00~14:00  
 6月23日(土) 9:00~16:00  
 会場: ギャラリーミドリ (倉敷市立緑丘小学校内)  
 岡山県倉敷市児島神田900



2016年12月よりオープンしたギャラリーミドリ(倉敷市立緑丘小学校内)において「Fukuro展」を開催いたしました。

本展示会は出品者26名がそれぞれに布、ふくろのデザインを考え、制作した37点のふくろ作品の展示です。ふくろの布は倉敷帆布を使用しており、小学1年生から大人まで、幅広い世代の方々に参加していただきました。

今回、緑丘婦人会のご協力により、出品の20点の作品を縫製していただいております。

本協会からは「ふくろプロジェクト」を通じて、7名参加しています。

小学生においてはワークショップを通じ、児島の繊維産業を知ることからものづくりを学ぶ場を作りました。また、児島の繊維産業とデザイナー、アーティスト、一般の方などとコラボレーションしながら、新たなものづくりが生まれること、交流することを企画し、これらの集約の形として、展示会を開催する運びとなりました。

記:田中

